

牛久：学校周辺に見る自然

第49号 ひたち野うしく小

2020年12月12日発行

＜ 秋のみずべ公園 ～⑧クモのなかま ＞

ひたち野うしく小4年生と歩いた秋のみずべ公園、今回はクモのなかまです。



いろいろな獲物えものを捕とらえて食べる、ジョロウグモのめす。右の写真で、上の方にいる小さいのがおす。

まずは、おなじみのジョロウグモ。秋によく見られるクモですが、成虫せいちゆうで冬をこすことはできず、卵たまごを産むと死んでしまいます。たくさんの卵たまごを産むために、盛んにえものを捕とらえ食あみべます。網にかかるとはバッタやチョウ、カメムシ、赤とんぼが多いですが、ハチやカマキリなどがかかっていることもあります。めすは大きく黄色と黒、赤のもようが目だち怖こわそうですが、おすは小さく目だちません。



ジョロウグモあみの網にかかったアオマツムシを食あみべる、シロカネイソウロウグモ。

そのジョロウグモすあみの巣網をじっくり観察すると、かかったえものを別の小さなクモが食あみべていることがあります。シロカネイソウロウグモという、夏によく見られ銀色にかがやくきれいなクモですが、名前の通り他のクモすあみの巣網いそろうに居候して、えさを横取りして育ちます。



たな
あみ おく
棚のような網の奥で、えものが落ちるのを待つコクサグモ（左）とその拡大（右）。
かくだい

こちらにも秋に多いクモで、コクサグモ。たな
すあみ
棚のような巣網の中で、えものを待ちます。えものが落ちてくると飛び出し、すばやくつか
おおく
捕まえて奥に引きずりこみます。ハチが捕まることもあります。



セイタカアワダチソウでえものを待つハナグモのおす(左)と、ムラサキツメクサにきたツバメシジミをねらうめす(右)。

すあみ
巣網を作らずに、花にかくれてじっとえもの待つクモもいます。ハナグモです。小さなシジミチョウのなかまや、ハナアブのなかまがつか
つか
捕まっているのを見かけることがあります。じっとして動かないので、花に来るチョウの写真を撮ったらたまたまうつ
うつ
写っていたと後で気がつくこともあります。おすとめす
ちが
で色やもようが違うので、別のクモかと思うこともあります。



最後に、ジグモの巣。す
うらにわ
うちの裏庭にもいますが、子どもたちの中にもくわ
くわ
詳しい子がいて、見つけてくれました。広場から林に入ると大きな石がありますが、その地面とのさかい
さかい
境に何個もついていましたね。長い袋のよう
ふくろ
な管は地下にも続いていて、えものが近づくとふくろ
ふくろ
袋ごしにかみつき、袋をやぶって中に引きずりこむそうです。 どうですか？ クモといっても、生活のしかたはそれぞれいろいろですね。 【理科支援員：宮内】

ふくろ
す
長い袋のような、ジグモの巣。